

橋の老朽化対策現場特別見学会を開催しました

～～知っていますか？毎日通る橋について～～

山形県内の道路管理者からなる「山形県道路メンテナンス会議」では、道路施設の老朽化対策について、県民や道路を利用される方々にも関心を持っていただくため、広報活動にも取り組んでいます。

平成26年10月25日、県内の一般の方々を対象として『橋の老朽化対策現場特別見学会』を開催しました。

山形市近郊の健全な橋、老朽化している橋、補修している橋の3橋をまわって、普段はなかなか見ることができない橋の老朽化の状況や、それに対する点検・補修・管理などの方法を、間近でご覧いただきました。



■参加者：県内にお住まいの方 14名

■主催：山形県道路メンテナンス会議

■見学場所：健全な橋：国道13号 大野目高架橋(だいのめこうかきょう)
老朽化している橋：国道287号 築瀬橋(やなせばし)
補修している橋：国道13号 楯山橋(たてやまばし)

■見学内容：①検査路に上がるなどして維持管理に配慮した構造について見学
②老朽化の原因などについて説明を聞いたり、老朽化部分を直接触る
③橋梁点検車に乗ったり、点検ハンマーでコンクリートを叩いて老朽化を確認



▲橋梁点検車に乗って点検方法を確認（大野目高架橋）



▲検査路に上がって構造を確認（大野目高架橋）



▲床版コンクリートを確認（築瀬橋）



▲県管理の橋の修繕状況を説明（築瀬橋）



▲老朽化の状況・工事内容を説明（楯山橋）



▲老朽箇所を見て・触って確認（楯山橋）